

構内へのA E Dの設置について

AED とは自動体外式除細動器のことを言います。

A : Automated（自動化された）、
E : External（体外式の）、
D : Defibrillator（除細動器）です。

AED設置方針・運用方針

AEDの具体的設置・配置基準に関する提言（抜粋） <日本循環器学会AED検討委員会、日本心臓財団>



○提言の目的

自動体外式除細動器（Automated External Defibrillator）の設置及び配置については具体的な目安を示すことで、効果的かつ効率的なAEDの設置を促し、心臓突然死の減少につなげること。

○背景

- ・心停止直後は、心室細動（※1）のことが多い
- ・心室細動の治療は、迅速な除細動（※2）が重要
- ・除細動が1分遅れるごとに生存退院率が7～10%ずつ、社会復帰率が9%減少
- ・公共の場にAEDを設置し、心停止後の救命率向上への期待
- ・AED設置密度が不十分
- ・AEDを効率的、効果的に配備することが重要

○AED設置のための具体的指針

- ・学校、スポーツ施設には設置が必須
- ・行政が管理する公共施設のうち利用者が多いもの（図書館）
- ・大規模なアパート、マンションなど集合住宅への設置を推奨
- ・心停止から5分以内に除細動が可能な配置
- ・誰もがアクセスでき、わかりやすい場所への配置

○効果的なAEDの設置に向けて

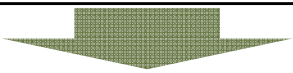
- ・医療機関外での心停止発生の可能性が高い場所（スポーツ施設など）を推奨
- ・学校へのAED設置の有効性は極めて高い
- ・日本における学校では、AED設置台数が不十分
- ・規模の大きな学校には複数台設置が必要
- ・運動施設への設置が優先
- ・常時250名以上がいる場所・施設には設置されるべき

○AEDの管理

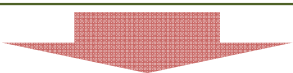
- ・いざという時に機能するように日常メンテナンスが必要
- ・パッド、バッテリーの使用期限の確認、更新が必要
- ・大規模なアパート、マンションなど集合住宅への設置を推奨
- ・心停止から5分以内に除細動が可能な配置
- ・誰もがアクセスでき、わかりやすい場所への配置

※1 心室細動：心臓の心室が小刻みに震えて全身に血液を送ることができない状態。
※2 除細動：電氣的な刺激や薬物等の外力によって異常な電気信号経路を遮断し、正常の電気信号経路への改善を促す方法。

上記提言を考慮し、以下を目標とする。

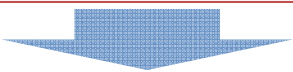


水平歩行距離300mごとにAEDが設置されていると、150m/分で早足で取りに行けば、その間のどこからでも1分以内でAEDが届き、5分以内に除細動が可能となる。



AED設置方針

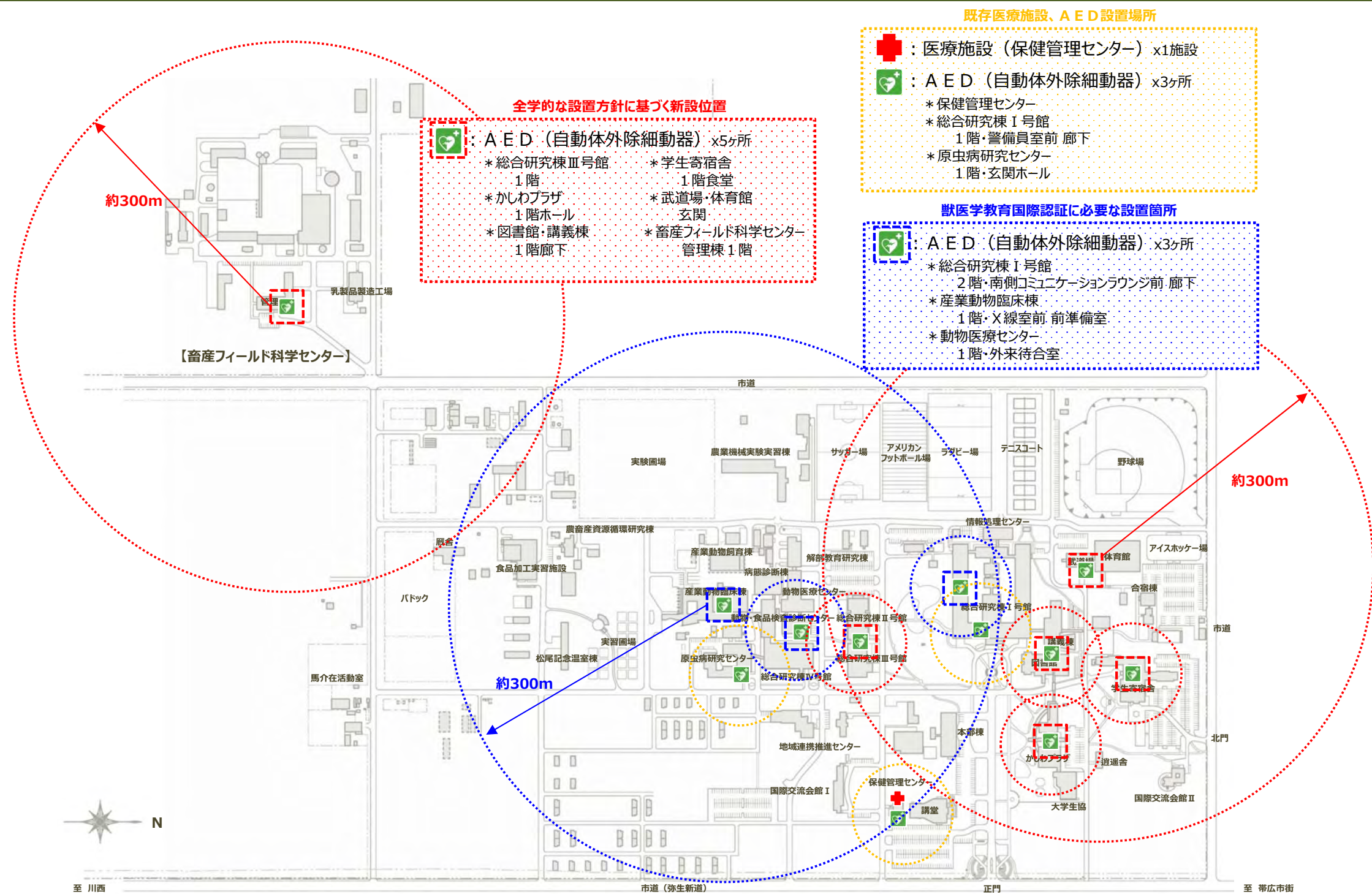
- ・屋内・屋外体育施設に対応するため、武道場の玄関付近の見やすいに設置する。
- ・多くの学生居住する学生寄宿舍の共用部分に設置する。
- ・多くの学生が利用する講義棟・図書館及びかしわプラザに設置する。
- ・既存AED（保健管理センター、総合研究棟Ⅰ号館（正面警備員室前）、原虫病研究センター）では対応が難しい部分に設置（追加）する。
→ 不足する各研究棟に対応可能にするため、総合研究棟Ⅲ号館、畜産フィールド科学センターに配置する。



運用方針

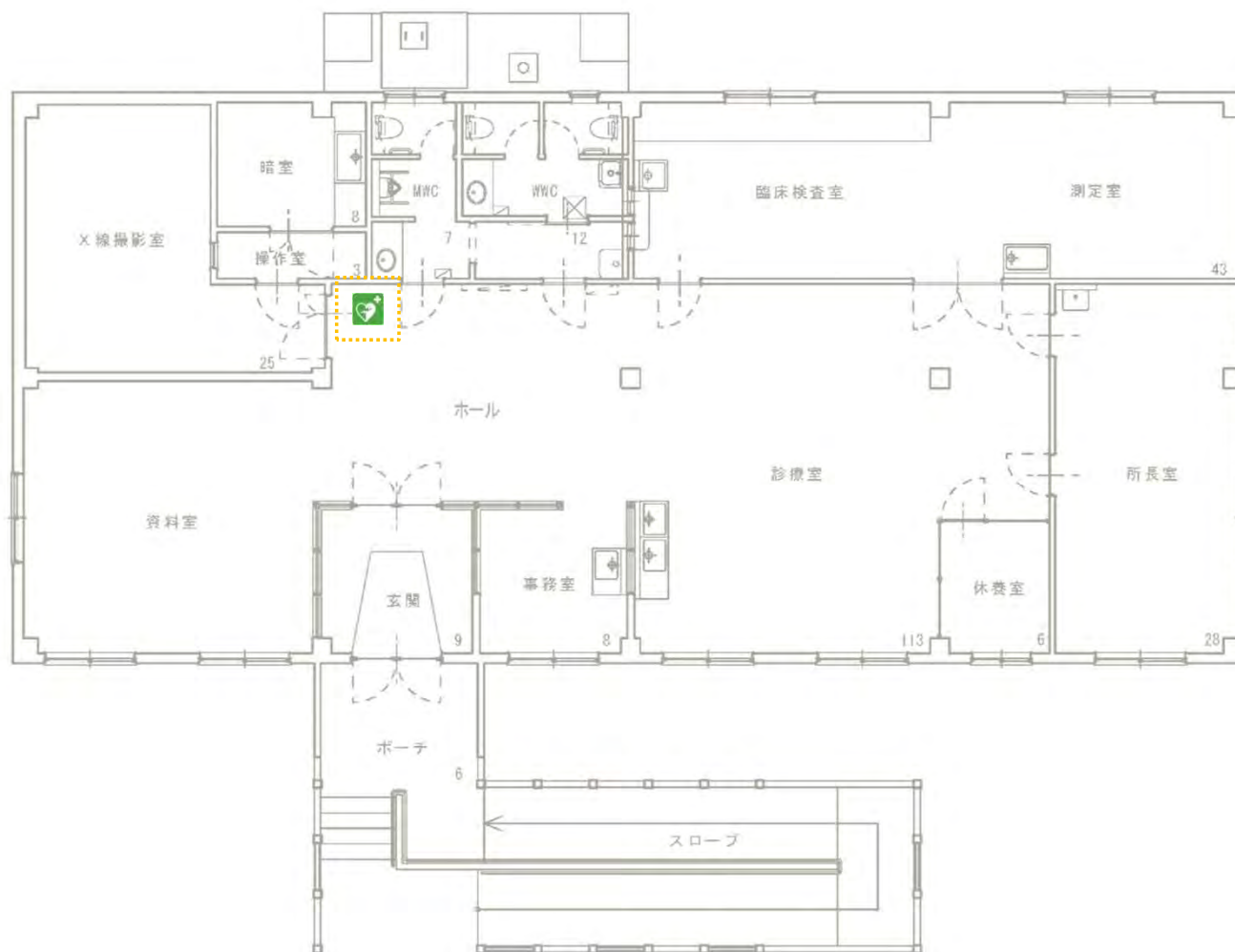
- ・AEDが確実に動作するよう、日常保守（定期点検、更新等）を含めたリース契約により運用する。
- ・設置場所は、本学防災マップや建物案内サインに明示するなどの周知する。

AED設置場所配置図



AED設置場所 平面図 保健管理センター

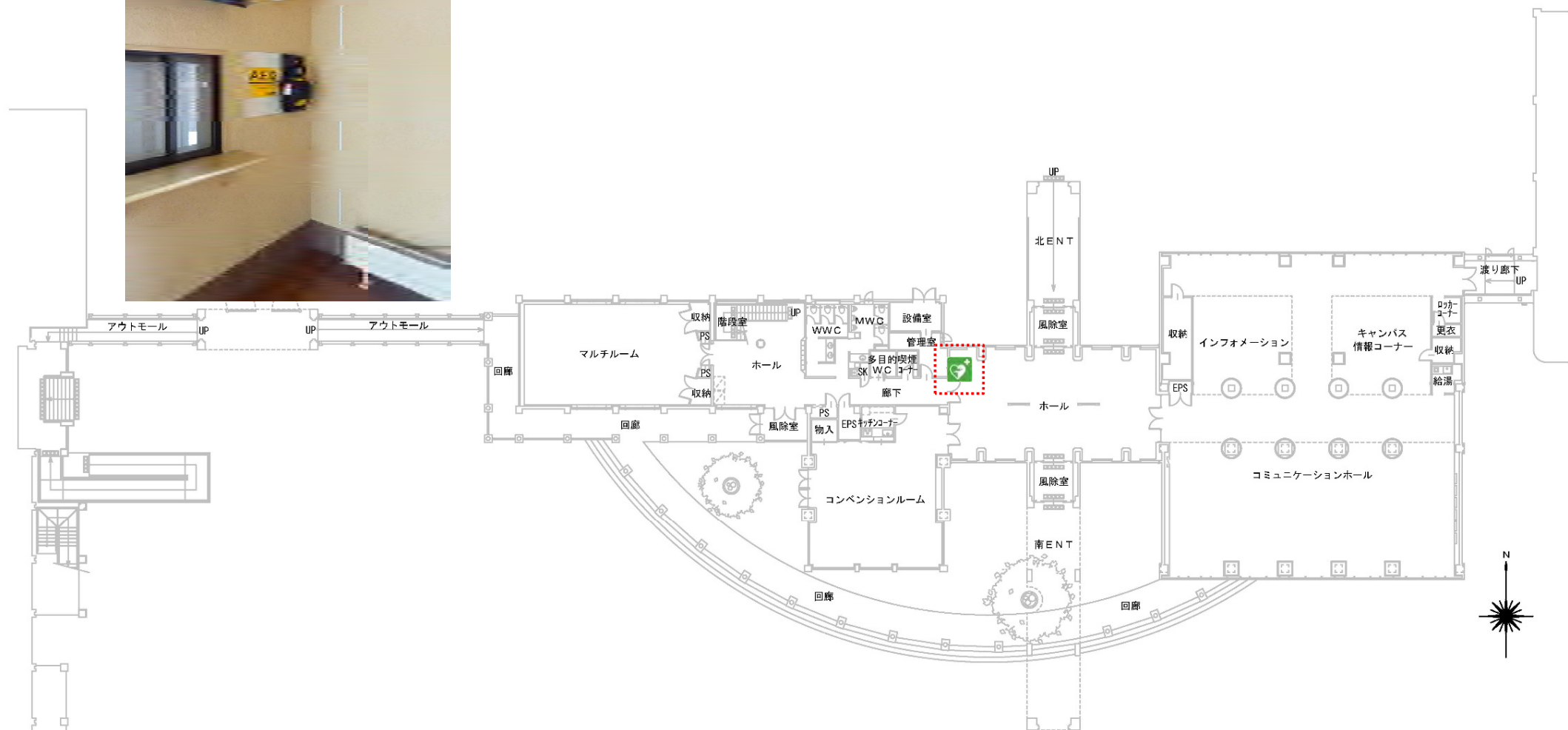
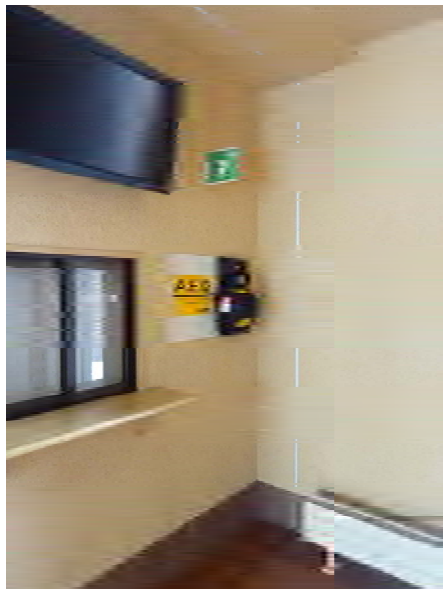
 : A E D (自動体外除細動器)



保健管理センター A E D設置場所平面図

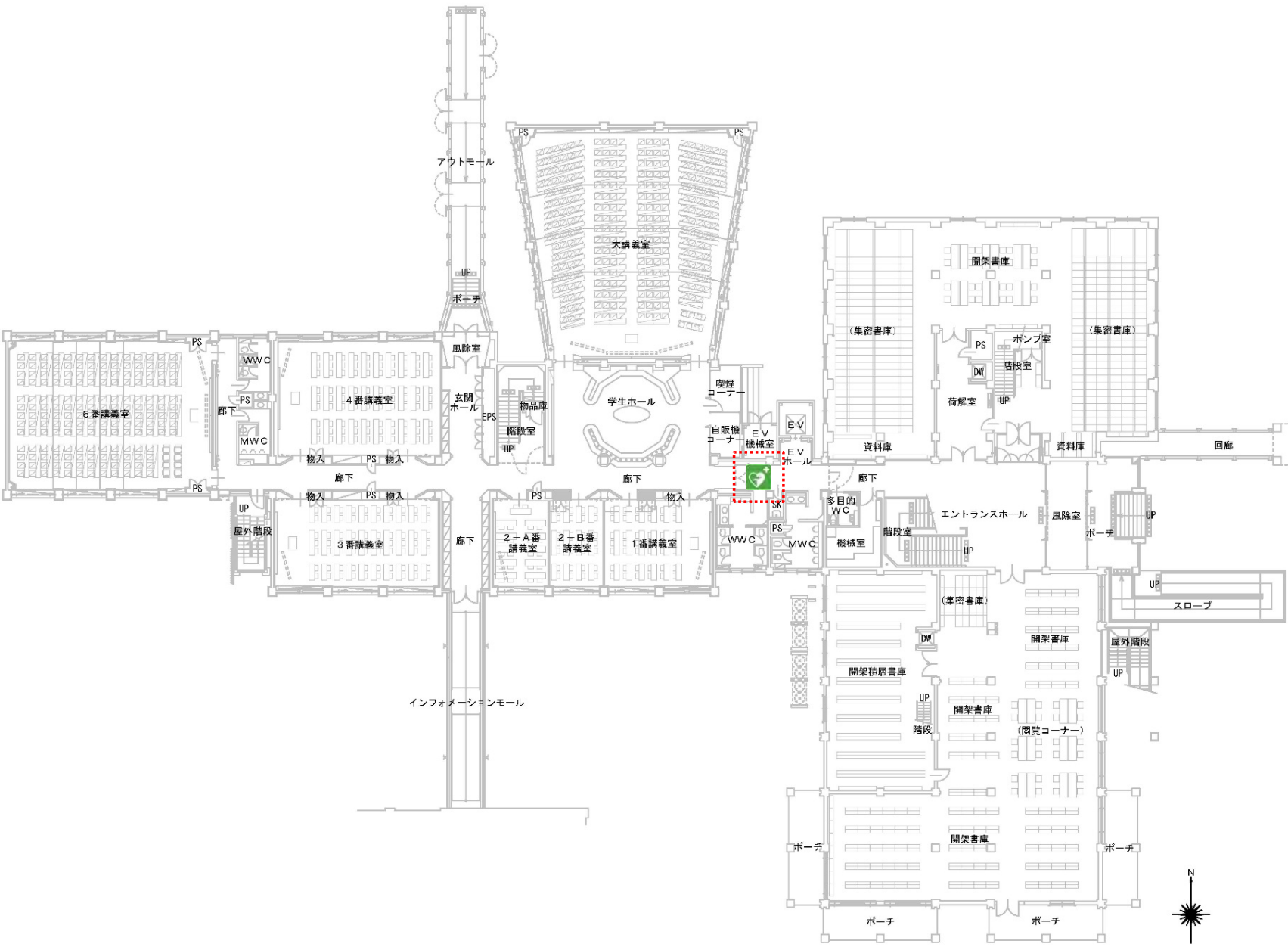
AED設置場所 平面図 かしわプラザ

 : A E D (自動体外除細動器)

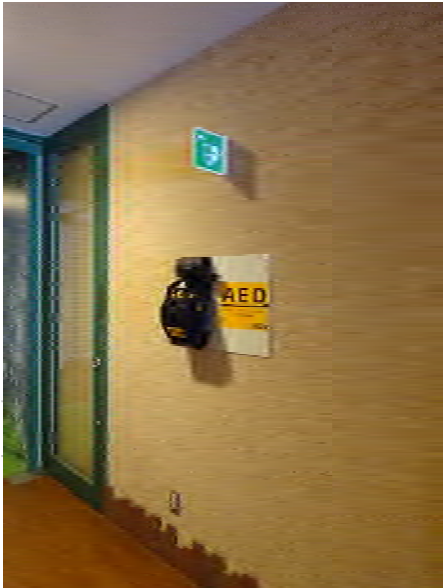


かしわプラザ 1 階 A E D 設置場所平面図

AED設置場所 平面図 講義棟・図書館



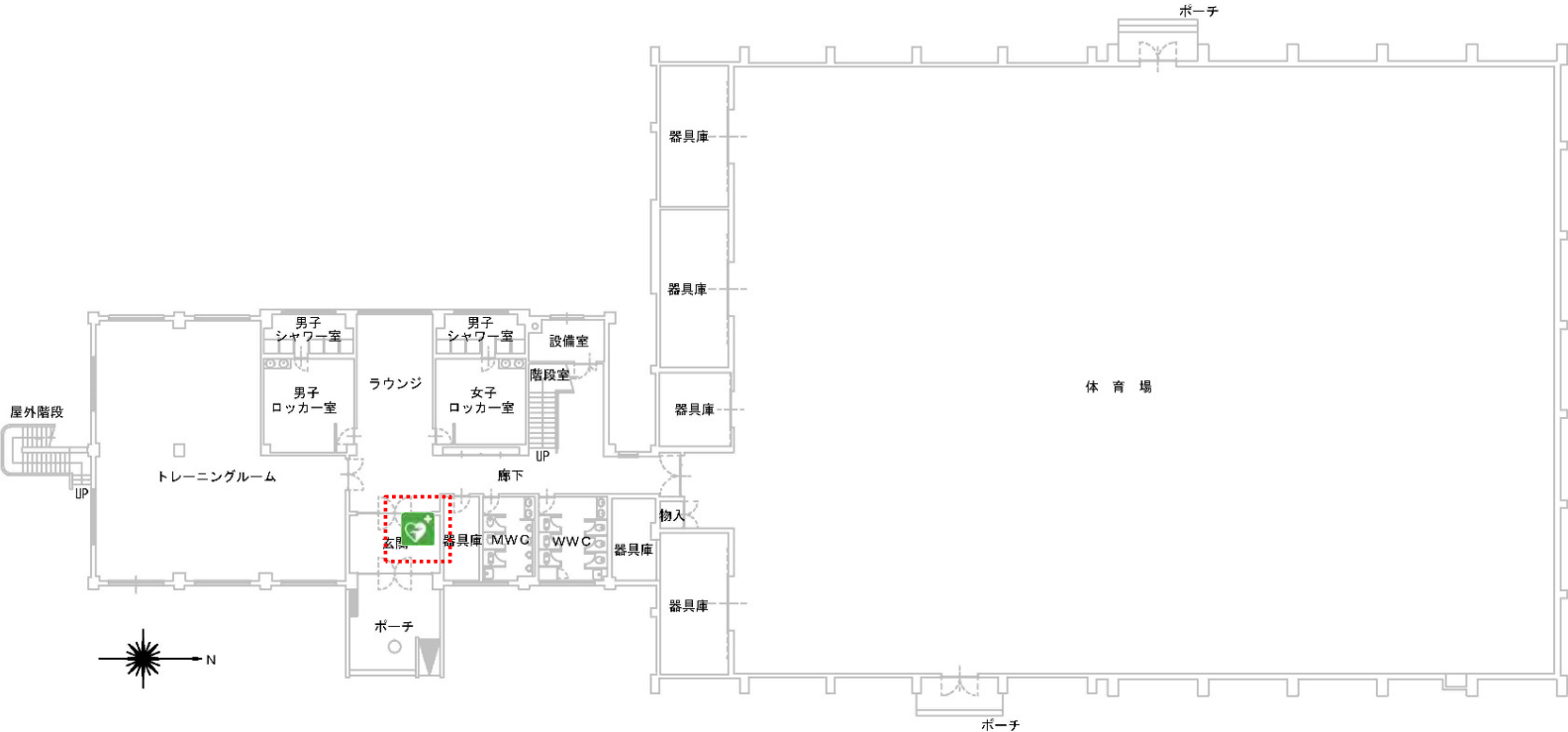
 : A E D (自動体外除細動器)



講義棟・図書館 1 階 A E D 設置場所平面図

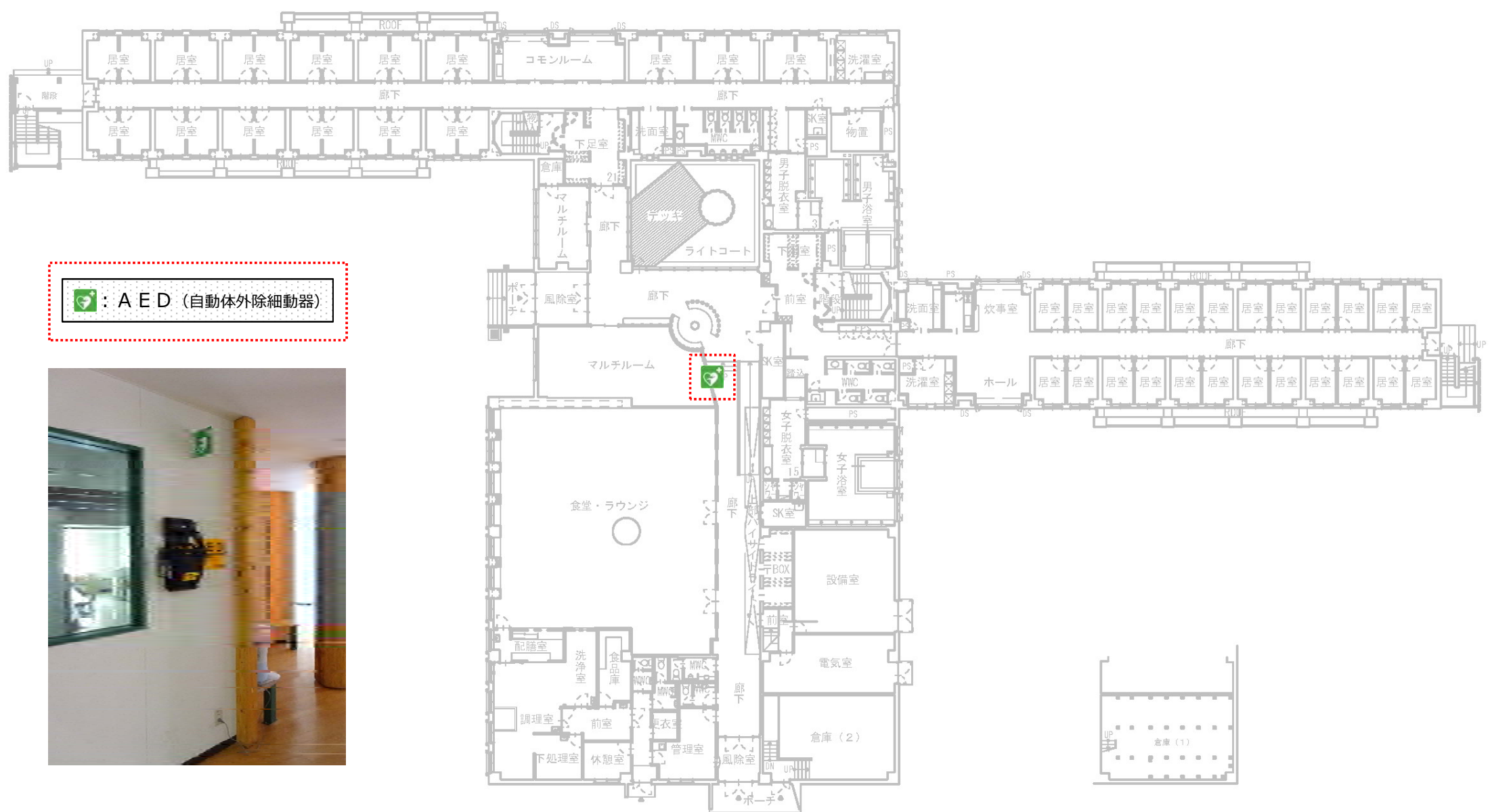
AED設置場所 平面図 武道場・体育館

 : A E D (自動体外除細動器)



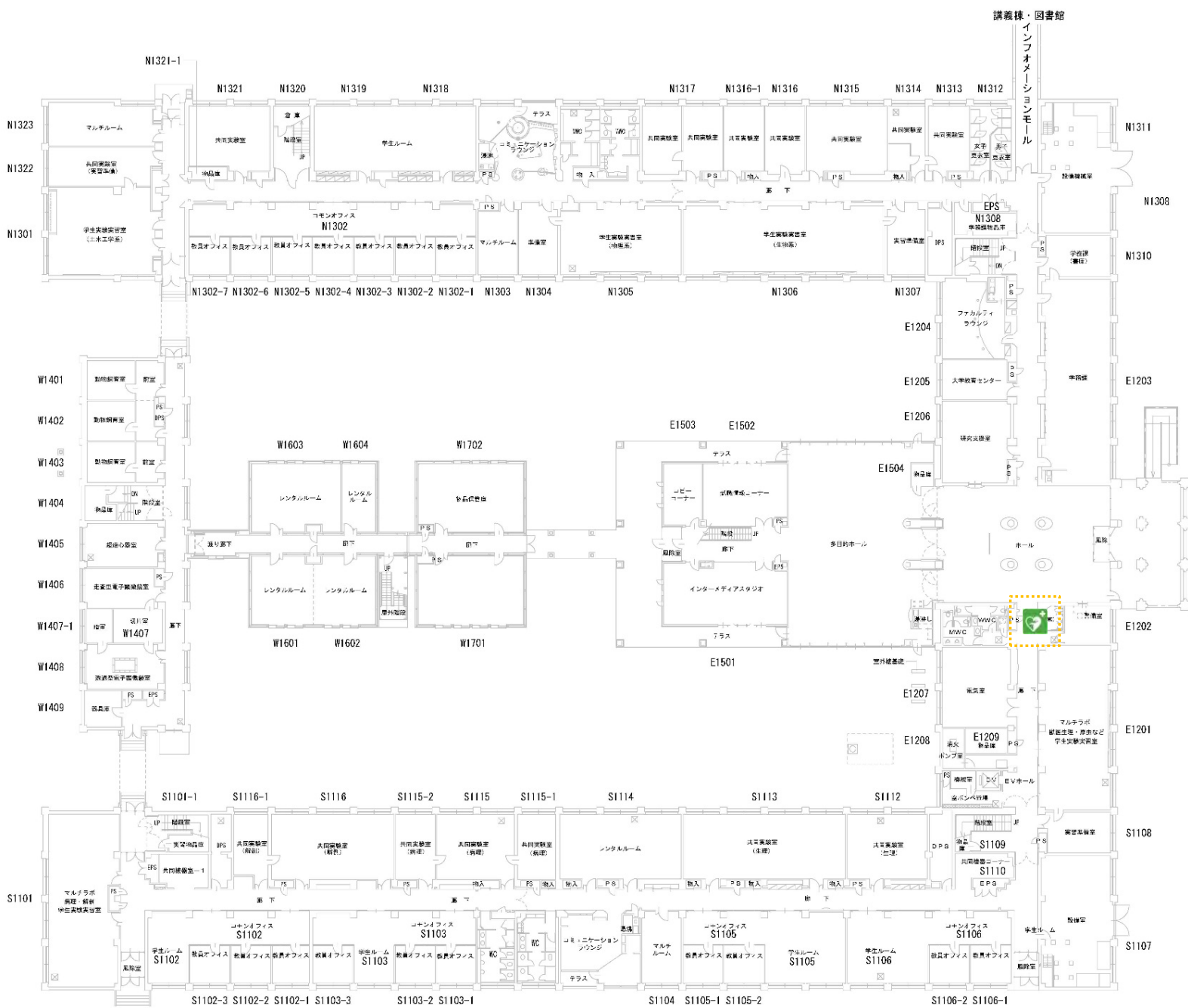
武道場・体育館 1 階 A E D 設置場所平面図

AED設置場所 平面図 学生寄宿舍



学生寄宿舍 1 階 A E D設置場所平面図

AED設置場所 平面図 総合研究棟 I 号館

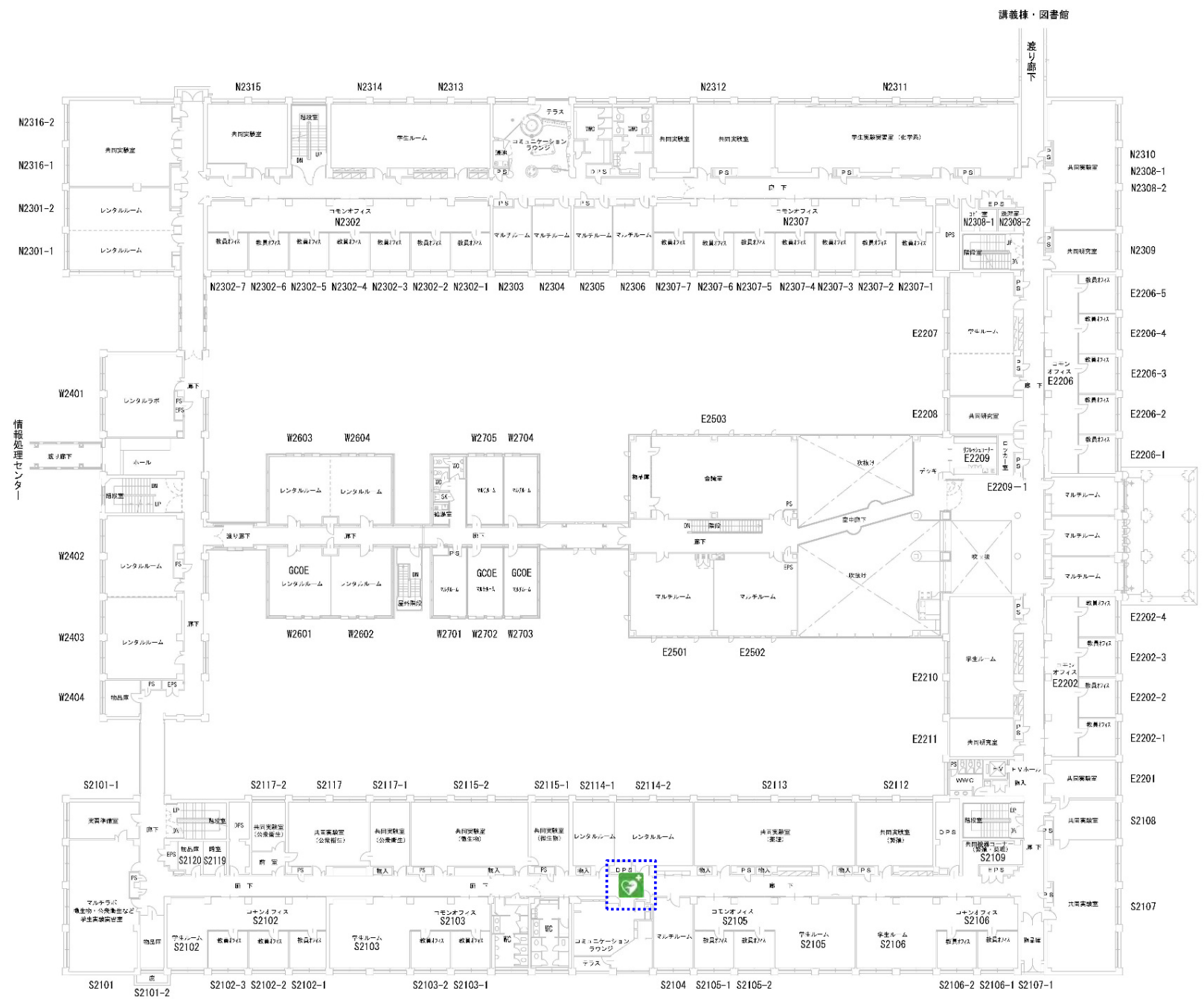


 : A E D (自動体外除細動器)



総合研究棟 I 号館 1 階 A E D 設置場所平面図

AED設置場所 平面図 総合研究棟 I 号館

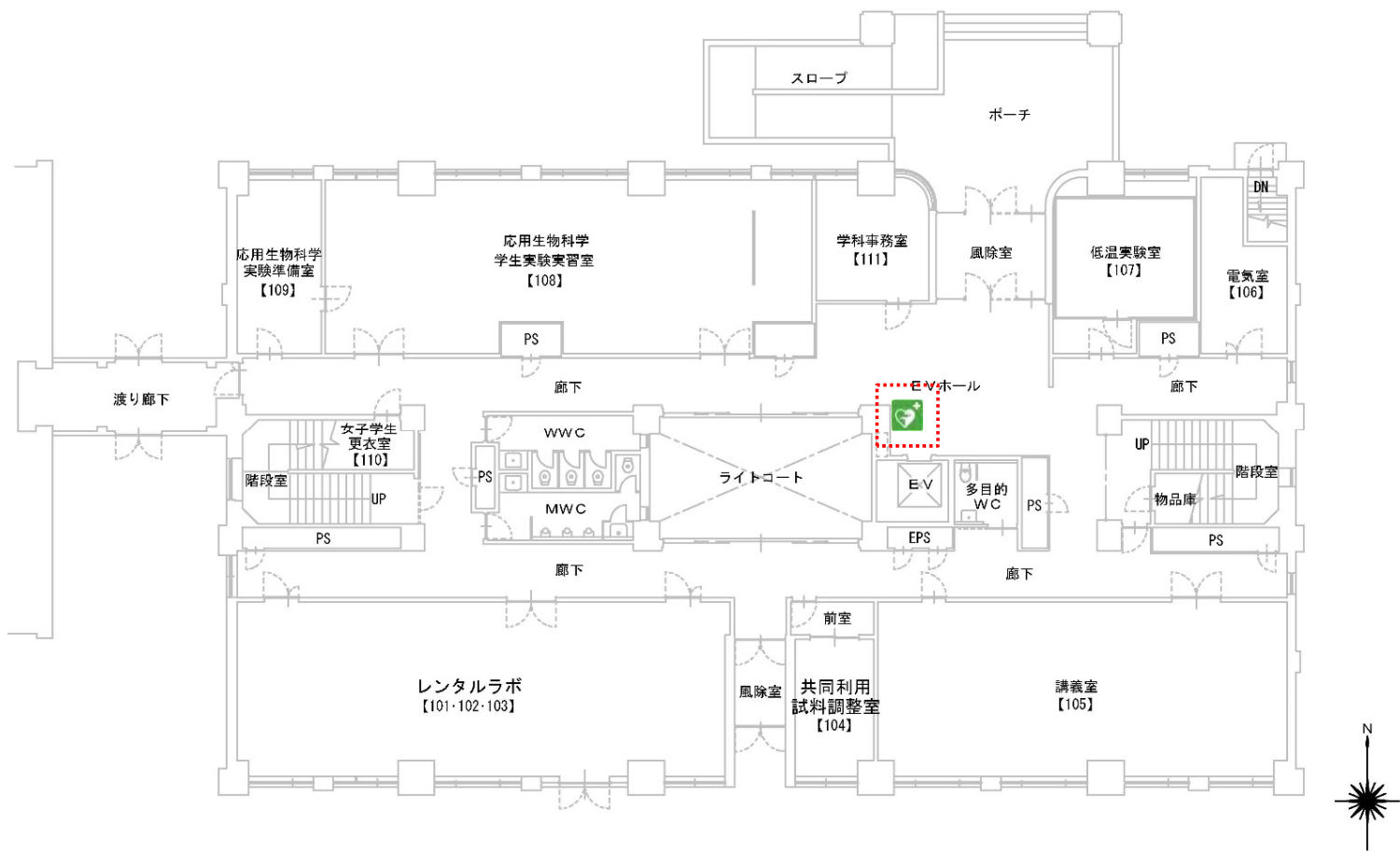


 : A E D (自動体外除細動器)



総合研究棟 I 号館 2 階 A E D 設置場所平面図

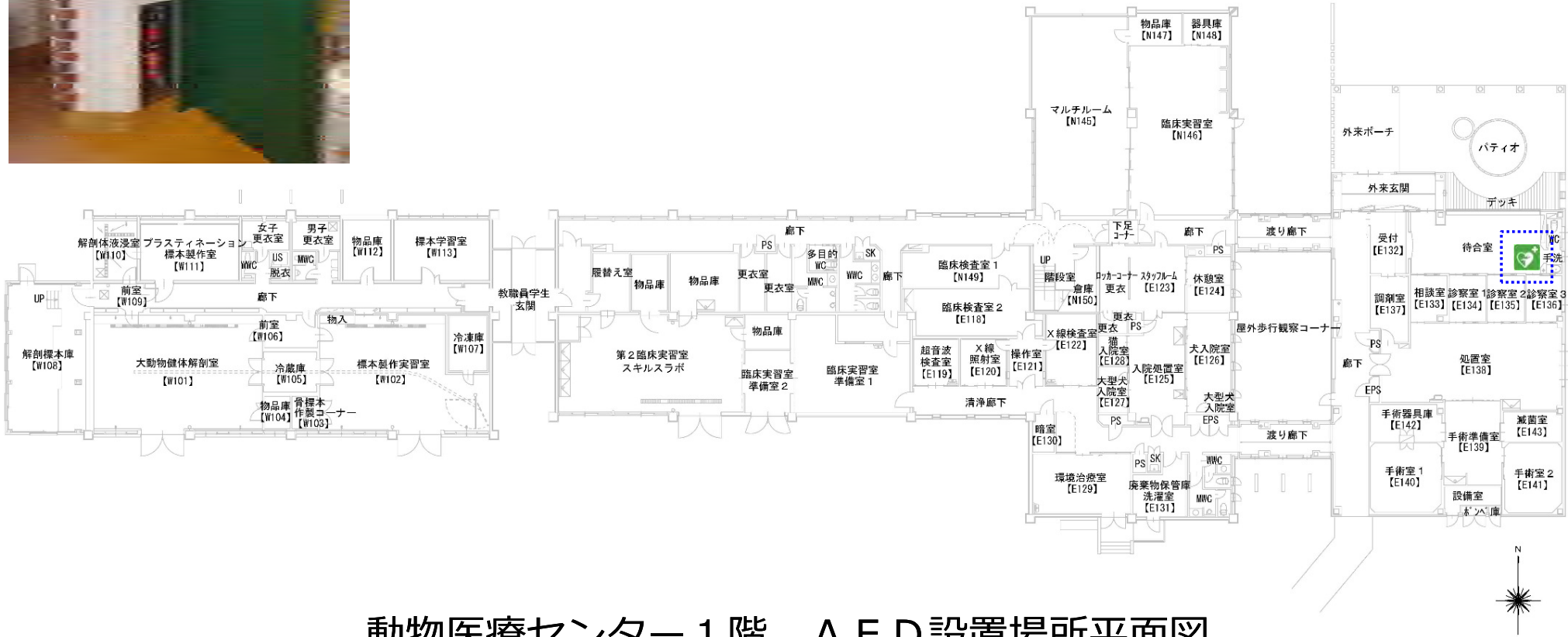
 : A E D (自動体外除細動器)



総合研究棟Ⅲ号館 1 階 A E D 設置場所平面図

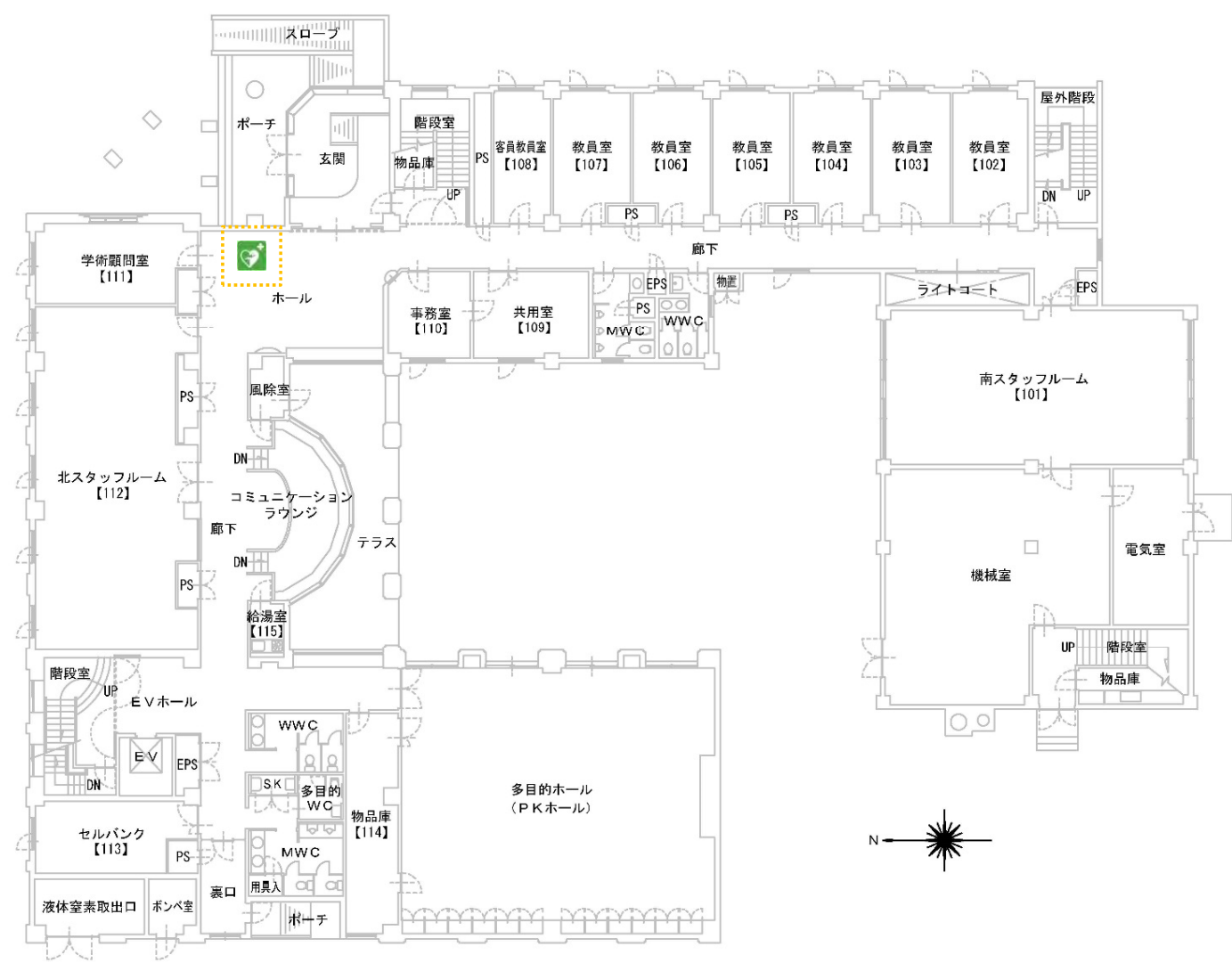
AED設置場所 平面図 動物医療センター

 : A E D (自動体外除細動器)

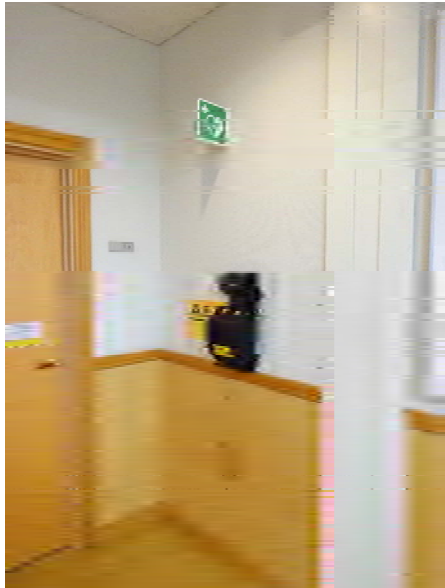


動物医療センター 1 階 A E D 設置場所平面図

AED設置場所 平面図 原虫病研究センター



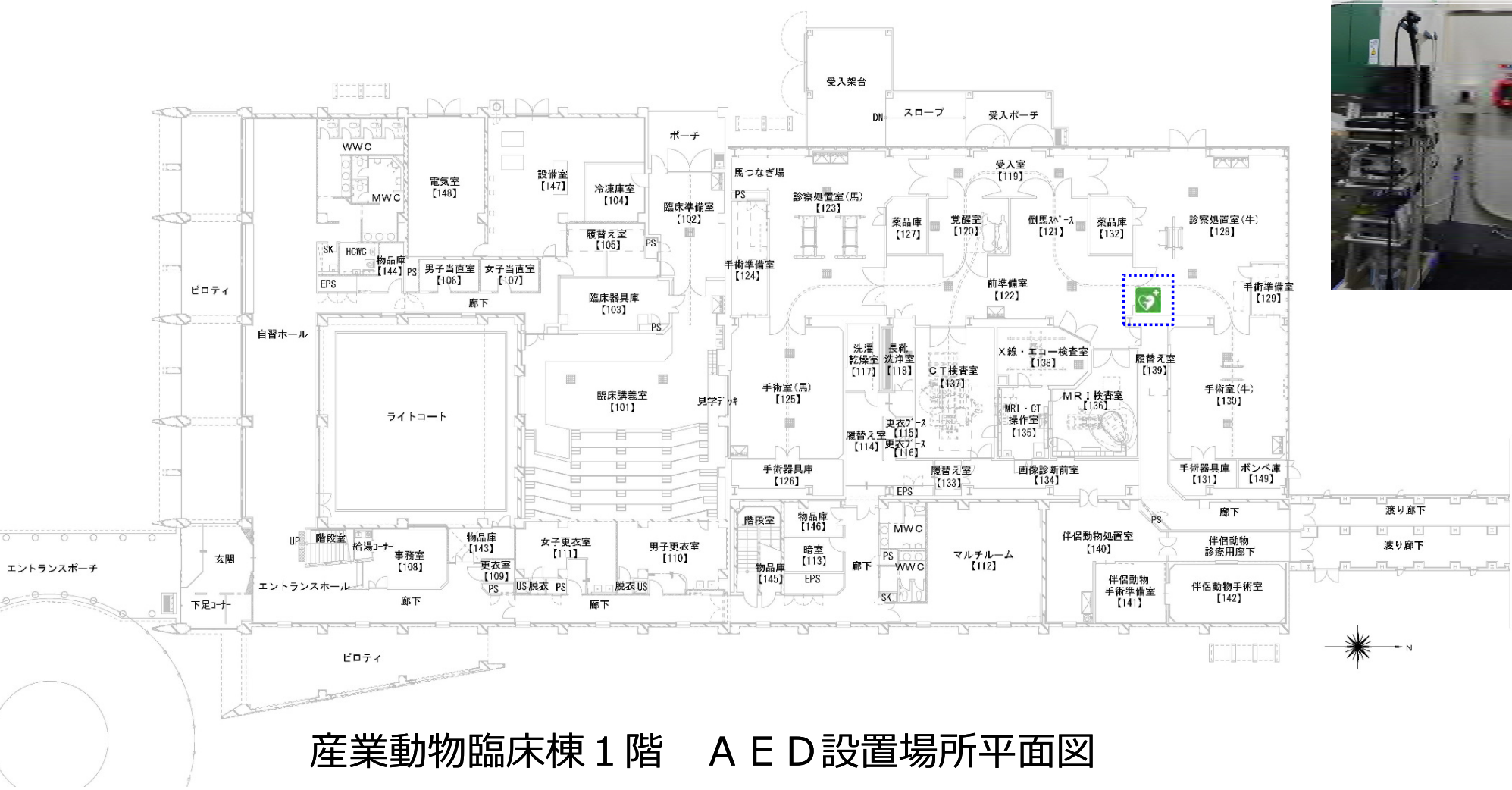
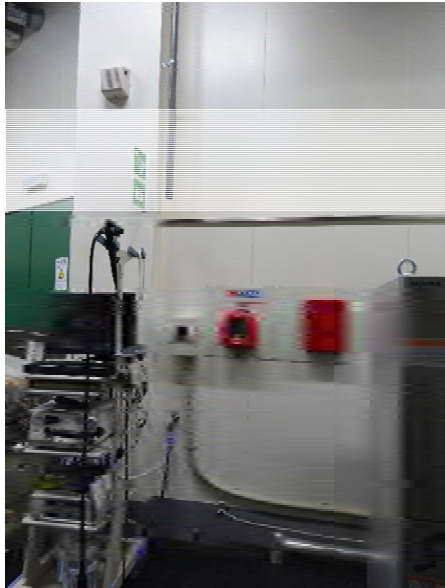
 : A E D (自動体外除細動器)



原虫病研究センター 1 階 A E D 設置場所平面図

AED設置場所 平面図 産業動物臨床棟

 : A E D (自動体外除細動器)

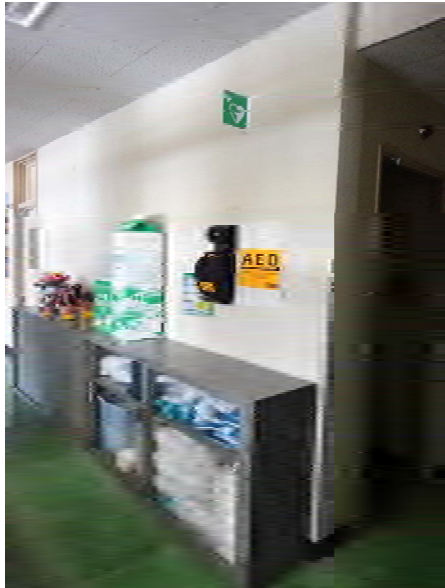


産業動物臨床棟 1 階 A E D 設置場所平面図

AED設置場所 平面図 畜産フィールド科学センター管理棟



 : A E D (自動体外除細動器)



畜産フィールド科学センター管理棟 1 階 A E D 設置場所平面図

AEDを設置しています

JRC蘇生ガイドライン2015に準拠

①周囲の安全確認

- 倒れている傷病者をみつけたら、周囲の安全を確認します。

②意識の確認

- 肩を軽くたたき、
大声をかけて
意識(反応)の確認
をする。



119番ですか!



- 意識(反応)がなければ
ただちに119番通報する。
- AEDを傷病者のそばに
取り寄せる。



③胸骨圧迫

- 「普段どおりの呼吸」がなければ胸骨圧迫を行う。

※普段どおりの呼吸の有無がわからないときも、胸骨圧迫を行う。

※AEDが到着するまで続ける。

※人工呼吸は、訓練を積み自信がある場合は実施する。

1分間に100～120回
のテンポで



胸が約5cm沈み込む
ように押す

④AED操作

AEDが到着したら

- AEDの電源を入れる
- 音声指示に従う

電極パッドを
貼ってください



離れてっ!



体から離れて、ボタンを押してください

電気ショックが必要な場合、ボタンを押して、電気ショックを与える。
※傷病者に誰も触れていないことを確認して、ボタンを押してください。



突然の心停止、私たちにできることがあります

AEDは、心室細動の状態か否かを、心停止者の胸部に貼り付けた電極から得られる心電図により自動的に判断し、必要と判断されたときにのみ、電気ショックを与える機器です。

信頼される安心を、社会へ。

SECOM

総監修 日本医科大学名誉教授 山本保博
技術監修 災害医療センター 副災害医療部長 近藤久禎

QT-989/2017-07-00500